

終の棲家と思いきや



自分が要介護の身になつたとき、約6割の人は「自宅より介護施設で生活したい」（国交省調べ、10年）と答えている。重症我慢もあるだろうが、終の棲家は、住み慣れた町や子どもらの近隣にこだわらぬ人が多い。だが、老人ホームでは死なないのだ。

「自宅を死なせてあげたい」は6.2%。家族の誰かに死期（余命6カ月以内）が迫つて居る場合、これを「死に場所」として勧めたのかと聞いたところ、「自宅」で最期までと答えた一般の人の割合は、わずか6%程度だった（厚労省1108年調査）。

もちろん、不治の病を

団塊世代の半数以上は「死に場所」がない

老人ホームでは死ねない

亡つたが、やはり彼も自宅ではなく、都内の病院で最期を迎えている。明書の中に〈契約解除の項目があり、〈他の入居者との共同生活が著しく困難〉などの理由で追い出せるのです〉。そこは口八手八丁だ。施設に「他人に看取られるより、最期は家族と孤族と一緒に死んでほしい」と言われている。これに答えては、たえ血縁関係が薄くても、断るに断れない。終の棲家の有料老人ホームやケアハウスで、施設内で死する人は、約19%しかない。残り81%は、追い出されて、いる。

「思子との関係がしつこりつけない理由にはさまざまですが、老人ホームで死ぬのではないと割り切っている人は多いと思えます。しかし、その考えが浅はかであることを、すぐに思い知らされるでしょう。」

「私は、介護職員として働く人の心問題もあると思います。自分がお世話していたおじさん、おばさんが目の前で亡くなる、それが年に何人も続けば、その悲しみに耐えられないヘルパーもいる。ただでさえK職なのに、余計に働き手が減っていく。施設経営者としても死活問題なのです。」（藤氏11前出）

30年前には90万人が死に場所を探る時代になった。家族、病院、老人ホーム、家族に連絡し、引き取りたいものごと、一行AVANは、

具合が悪くなったら追い出す

老人ホームでは死ねない、といわれて、死なせ

てくれないのだ。これが民間の有料老人ホームになると、もっと露骨かもしれない。施設内で「当然ですが、入所者はこの家で死ぬんだ」とを嫌がりますが「なつた後、家族から『訴えやめ』と案件と同じく、入居一時金を値下ししなくばならない場合も出てくる。そこで死に至つたなら、家族に連絡し、引き取りたいものごと、一行AVANは、

取つてもいいから、一